

子どもが育つ魔法の言葉/ドロシー・ロー・ノルトより

子育てワンポイント・励ましのことは

あわただしい毎日
いつも追い立てられてばかり
でもどうか 子どもといっしょに
お日さまの光を浴びたり
星を眺めたりしてください
ほんのちょっとの時間でいいのですから。



私たちは「早く!早く!」の世界に生きています。「ボビィ、早くして、出掛けるわよ」「大変だ、保育園に遅れそうだ」一日にいったい何回、私たちは子どもに「早くしなさい」「急ぎなさい」と言っていることでしょうか。緊張感のある言葉は私たちの態度や行動に影響を及ぼし、たちまち子供に伝染するのです。

原因がなんであれ、緊張感は家の空気をピリピリさせみんなが落ち着かなくなり、親がイライラしたり不機嫌だったりすると、まだ想像力の発達していない幼い子は、ともすると自分のせいだと思ってしまう。

「早く、早く」のコーラスはもうおしまいにして、もっとくつろげる雰囲気になってください。そのためには、何か感謝の言葉を口にしたり、その日あった楽しかったことを話すのもいいでしょう。一緒に笑える楽しい出来事を見つけるのもいいですね。笑いや感謝ほど、緊張やストレスをほぐしてくれるものではありません。親がリラックスしていると、それは子供に伝わります。私たち親も、気楽にのんびりかまえる時間が必要なのです。

God is good all the time!
瀬戸カルバリーチャペル